

(別紙4(2))

事業所名:グループホームさんさらな

## 目標達成計画

作成日 : 令和2年 10月 2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期の利用者に対する知識や対応力が職員によって差がある。	夜勤を担当する職員の知識・対応力の均一化を図る	定期的研修を行う。 緊急時の対応を見直し、知識・経験の浅い職員にも対応できるようにする。	12ヶ月
2	35	・消防訓練に消防署の立ち合い・指導がない ・訓練に地域との連携がない ・非常食のストック量が少ない	地域や消防署との連携の取れた訓練を行う。 5日分のストックを用意する。	年2回の訓練の内1回は、消防署の立ち合いを行い、町内会からの参加を呼びかける。 非常食を見直し5日分を用意する。	6ヶ月
3	4	運営推進会議が年6回行えていない。 職員への内容の周知が不十分	年6回確実に開催する。 内容の周知の徹底	奇数月を開催月と定める。 職員へ議事録を回覧し内容を周知する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。